

もったいないの意識で身近な取り組みを

食品ロスとは

本来食べられるのに捨てられる食べ物のことを「食品ロス」といいます。家庭や店、工場からこみとして出る未開封の食べ物や食べ残し。農林水産省、環境省の平成29年度推計の国内の食品ロス量は612万tで、46%に当たる284万tが家庭から出ています。食品関連事業者から出る分も含めた食品ロス量は国民1人当たり、年間約48

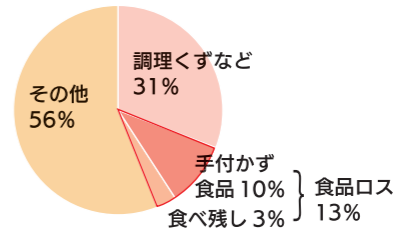
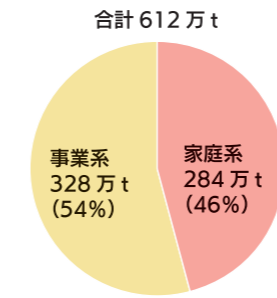
kgの食べ物を捨てている計算になります。これは1人当たりの米の年間消費量に相当します。

久留米市の現状

久留米市は、昨年度、環境省の支援を受け「食品ロス実態調査」を行いました。家庭から回収した燃やせるごみ約450kgを開封し、分類。食品ロスの割合を調べました。結果、食品ロス量は約57kgで、全体の約13%。うち10%が手付かずで廃棄され、中には、賞味期限内のものもありました。

一人一人がもったいないを意識して、余分に買い過ぎない、食べられる分だけ作るなど身近

平成29年度国内食品ロス推計量



久留米市の家庭から回収した燃やせるごみに占める食品ロスの種別割合

な取り組みで、食べ物を使い切ることが大切です。

「てまえどり」に協力を

食品ロスを減らすため、市はイベントや講習会などでPRを行っています。今回、市内のスーパーと連携して「てまえどり」キャンペーンを実施します。「てまえどり」とは、買ってすぐ食べる場合、陳列棚の手前にある消費期限・賞味期限などの期限の短いものや値引き商品を積極的に選んでもらうことです。キャンペーン期間は10月1日(日)から31日(土)まで、市内15のスー



すぐ消費する場合は陳列棚の手前にある期限の短いものを選びます

「てまえどり」キャンペーン実施について

詳しくはQRコード

④資源循環推進課 ☎0942-309143、FAX 0942-373344

令和元年度ごみ量報告

令和元年度のごみ総排出量は10万2,611 tでした。前年度と比べて672 t増加しています。昨年は、元号が変わったことで既製の印刷物の廃棄や消費税増税前の駆け込み需要、新型コロナの影響により家庭での食事が増えたことなどもあり、家庭ごみも増えています。

市内のごみ量とリサイクル率

年度	総ごみ量	1人1日当たり	リサイクル率
平成30年	101,939t	913g	22.4%
令和元年	102,611t	919g	21.9%

くるめ学生通信

大学生が、久留米市の仕事を取材し、発信するシリーズです

53 市の財産を有効活用！ 今回の記者：久留米工業高等専門学校（専攻科1年）高梨瑞希さん



広告料で賄われている本庁舎1階にある案内板。画面に触れると各階の配置図が表示されます

先日、図書館西分館だった古い建物を売ったという記事を新聞で読みました。市が土地や建物を売っていることを知らなかったの、財産管理課の松木幸夫さんに話を聞きました。

久留米市が財産を売ってどうしているのか

市は土地や建物などの不動産、有価証券、物品、基金などは市役所や図書館など、皆さんが利用する公共の施設や駐車場などの不動産です。施設を維持するには、光熱水費、清掃費や警備費など多くの費用がかかります。古くなると修繕費なども必要です。そこで、不要になった不動産は、別の用途に有効活用してもらうために売却します。もちろん代金は市の歳入となり、さまざまな市の事業に充てられます。

——どんな不動産を売っているのか
老朽化した木造の市営住宅を集合住宅に建て替えて、余った土地は更地にして売ります。こ

の時、物件の価格で落札者を決める一般競争入札や、購入後の活用方法を応募者に提案してもらい、購入者を決めるプロポーザル方式を採用しています。年間4億円の歳入になることもありますよ。昨年度から、条例を改正して、1年たっても売れない土地は値下げして入札ができるようにしました。全国の自治体でも珍しい取り組みです。価格を下げてでも、新しい住宅や施設を建てて、活用してもらうほうが、地域の活性化につながりますからね。

——不動産を売る以外に財産を使って歳入になるものは？
力を入れているのが広告収入です。市役所入口の玄関マットやフロア案内板には、企業などの名前が入った広告があります。多くの市民の皆さんに見てもらえるので、広告主からはP



エレベーターの中にも広告があります

R効果が高まると喜ばれています。市も広告料が収入として入ってくるので、お互いが得する関係です。他にも、市のホームページや広報くるめ、ごみカレンダー、窓口で渡す封筒にも広告を載せています。令和元年度の広告収入は、約1000万円にもなります。市の財産は、市民の皆さんの貴重な財産なんです。しっかりと管理して有効に活用していかないといいけません。

——税金以外にも歳入があることを知って驚きました。市の財産をしっかりと維持管理しながら有効活用している財産管理課はまさに、「縁の下の力持ち」だと思います。

④広報戦略課 ☎0942-309119、FAX 0942-309702



売りに出されている市有地